



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,830	40.6	690	128.4	667	137.1	421	159.6
2019年3月期第3四半期	6,281	△5.9	302	△25.9	281	△33.1	162	△45.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 475百万円(258.4%) 2019年3月期第3四半期 132百万円(△62.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	435.82	—
2019年3月期第3四半期	167.27	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,318	7,029	49.1
2019年3月期	13,844	6,612	47.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,029百万円 2019年3月期 6,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当50円00銭、記念配当10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	31.1	990	36.5	960	37.6	550	28.5	568.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2020年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	1,012,000株	2019年3月期	1,012,000株
2020年3月期3Q	44,426株	2019年3月期	44,406株
2020年3月期3Q	967,582株	2019年3月期3Q	971,186株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ

「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第3四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の消費税増税による消費落ち込みや自然災害の影響、海外の貿易摩擦激化と経済減速などの影響により、鈍化しているものとみられております。先行きにつきましても、東京オリンピック・パラリンピックに向けた消費喚起や海外貿易摩擦の改善が期待されるものの、地政学リスクの高まりなど予断を許さない状況となっております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、お客様に満足される製品・サービスの提供により、安心・安全な社会の維持に貢献するべく、消防・防災事業、航空・宇宙、工業用品事業、不動産賃貸事業の各事業活動を行っております。

その結果として、売上高は8,830百万円（前年同期比40.6%増）、営業利益690百万円（前年同期比128.4%増）、経常利益667百万円（前年同期比137.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益421百万円（前年同期比159.6%増）となりました。

当期は、新本社事務所移転に関する一時費用並びにランニングコストの増加はあるものの、オリンピック等に向けた案件の増加を主因として消防・防災事業の大幅な増収増益が寄与し、前年同期に比べ経営成績は大幅に良化して推移しております。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

消費税増税前の前倒し需要もあった消防ホースの販売増と、大型化する自然災害への対応や東京オリンピック・パラリンピックの円滑な開催に向けた資機材などは前四半期に続き第3四半期も大幅に増加した結果、売上高5,443百万円（前年同期比120.1%増）、セグメント利益（営業利益）は635百万円（前年同期は63百万円のセグメント損失）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、顧客の生産計画に沿って当期中の納期案件は前年同期に比べ減少しており、売上高も減少しております。工業用品部門では、子会社を取り扱う油圧ホースの販売が減少しております。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は3,015百万円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益（営業利益）は316百万円（前年同期比43.3%減）となりました。

<不動産賃貸事業>

売上高は371百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）は修繕費の増加もあり35百万円（前年同期比54.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間における流動資産は9,683百万円（前連結会計年度末比205百万円増）となりました。主として、現金及び預金が962百万円、たな卸資産が809百万円それぞれ増加した一方、売上債権回収により受取手形及び売掛金が1,675百万円減少したことによるものです。また、固定資産は4,634百万円（前連結会計年度末比269百万円増）となりました。主として有形固定資産の取得によるものです。

この結果、資産合計は14,318百万円（前連結会計年度末比474百万円増）となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間における流動負債は4,540百万円（前連結会計年度末比310百万円減）となりました。主として、支払手形及び買掛金が56百万円、1年内返済予定の長期借入金が116百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定負債は長期借入金が438百万円増加し、2,748百万円（前連結会計年度末比367百万円増）となりました。

この結果、負債合計は7,288百万円（前連結会計年度末比57百万円増）となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産は7,029百万円（前連結会計年度末比417百万円増）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純利益421百万円による増加と剰余金の処分58百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,104,287	3,066,620
受取手形及び売掛金	4,822,923	3,147,792
商品及び製品	97,654	330,118
半製品	532,876	797,327
仕掛品	1,185,053	1,455,433
原材料及び貯蔵品	653,711	695,505
その他	87,245	194,395
貸倒引当金	△4,943	△3,219
流動資産合計	9,478,809	9,683,973
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,814,532	1,796,001
土地	1,339,962	1,639,675
その他（純額）	479,538	443,256
有形固定資産合計	3,634,033	3,878,932
無形固定資産	12,384	12,024
投資その他の資産		
投資有価証券	252,147	283,554
その他	466,746	460,020
投資その他の資産合計	718,893	743,574
固定資産合計	4,365,310	4,634,530
資産合計	13,844,120	14,318,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,805,996	1,749,759
短期借入金	1,190,000	1,350,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	729,298	612,661
未払法人税等	145,158	61,220
賞与引当金	246,277	122,921
役員賞与引当金	73,000	48,750
その他	641,315	575,359
流動負債合計	4,851,044	4,540,671
固定負債		
社債	260,000	250,000
長期借入金	892,124	1,330,645
役員退職慰労引当金	226,870	217,378
退職給付に係る負債	718,797	673,216
資産除去債務	12,001	12,208
その他	270,697	264,685
固定負債合計	2,380,490	2,748,132
負債合計	7,231,535	7,288,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	6,215,224	6,578,861
自己株式	△173,322	△173,443
株主資本合計	6,833,333	7,196,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,482	84,111
退職給付に係る調整累計額	△283,230	△251,260
その他の包括利益累計額合計	△220,748	△167,148
純資産合計	6,612,585	7,029,699
負債純資産合計	13,844,120	14,318,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	6,281,020	8,830,241
売上原価	4,553,042	6,699,145
売上総利益	1,727,977	2,131,095
販売費及び一般管理費	1,425,788	1,440,995
営業利益	302,189	690,100
営業外収益		
受取利息	27	27
受取配当金	7,452	7,971
受取地代家賃	9,052	8,862
保険返戻金	8,323	8
貸倒引当金戻入額	1,362	1,724
その他	8,045	6,962
営業外収益合計	34,263	25,555
営業外費用		
支払利息	31,746	31,570
社債利息	1,182	678
為替差損	3,152	1,788
社債発行費	7,179	-
その他	11,631	14,092
営業外費用合計	54,892	48,130
経常利益	281,560	667,524
特別利益		
固定資産売却益	2,422	-
特別利益合計	2,422	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,510	12,768
特別損失合計	1,510	12,768
税金等調整前四半期純利益	282,471	654,756
法人税、住民税及び事業税	73,021	186,276
法人税等調整額	47,002	46,788
法人税等合計	120,024	233,064
四半期純利益	162,447	421,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,447	421,691

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	162,447	421,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,266	21,629
退職給付に係る調整額	24,418	31,970
その他の包括利益合計	△29,848	53,599
四半期包括利益	132,599	475,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,599	475,291
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,472,920	3,443,515	364,583	6,281,020	—	6,281,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	6,575	6,575	△6,575	—
計	2,472,920	3,443,515	371,158	6,287,595	△6,575	6,281,020
セグメント利益又は損失(△)	△63,216	557,852	78,375	573,011	△270,821	302,189

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△270,821千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,443,441	3,015,285	371,514	8,830,241	—	8,830,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	947	5,616	6,563	△6,563	—
計	5,443,441	3,016,232	377,130	8,836,804	△6,563	8,830,241
セグメント利益	635,707	316,408	35,636	987,753	△297,653	690,100

(注) 1 セグメント利益の調整額△297,653千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。